

小中学校給食費の無償化と 地産地消や国産食材の使用を引き続き求め、 災害時にも使用可能となる 自校調理方式の維持を求める陳情

願意

熊谷県知事が掲げる「市町村と連携しての小中学校給食費の無償化」は、現在県内8町が実施しております。船橋市の給食費月額は小学校で約4600円、中学校で約5600円と高く、特に複数人の子どもがいる家庭では保護者の負担がとて大きくなっています。

子どもたちは学校給食から食べ物の知識や、成長および発達に必要な栄養や病気にならない食生活など、多岐にわたり食の大切さを学びます。学校給食は生涯にわたり生きていく土台の基礎となり、食育という義務教育の一環でもあります。また憲法26条「義務教育はこれを無償とする」という条文にもあるように、無償にするべく財政措置を講じるに値するものです。市川市や千葉市では第三子の無料化から始めるなど、学校給食費の無償化の流れが広がっています。

船橋市の給食は自校方式で作りたての給食が提供されることや、地産地消やできる限り国産の材料を使用するなど、子どもたちの健康を考えた内容となっており、保護者としても大変安心です。自校調理方式は災害時に調理設備を使った支援が可能であることも心強い限りです。船橋市の給食の良さを残しつつ無償化を進めてください。

記

- 一、小中学校給食費の保護者負担を無償にするため、市として必要な財政措置を講じてください。
- 一、小中学校給食費を無償化するための財政措置を、県、国に求めてください。
- 一、地産地消や国産食材をできる限り使用してください。
- 一、災害時にも使用可能となる自校調理方式を維持してください。

以上

船橋市長宛てに同様の署名を集めています。
2021年11月9日現在608人分（ネット署名含む）